

変化を楽しみ、さらにロータリーの価値を高めよう！

3月の月間
水と衛生月間

本日の例会プログラム 第2229回例会 令和7年4月7日

- ・結婚・誕生日セレモニー・新会員卓話
- ・新会員卓話 小坂 鷹亮 会員
- ・ロータリー情報 大迫 三郎 PG

会長挨拶

大迫雅浩会長



皆さん、こんにちは。

まずもって、3月20日、春分の日に行いました「第45回宮崎南ロータリークラブ少年少女球技大会 U9 ジュニアサッカー大会」では、黒田青少年委員長、そして委員会メンバーの皆さん、事前からの段取りをいただき有難うございました。そして業者並みの設備をご提供いただいた池田会員にも感謝申し上げます。また祝日にも拘わらず、多数のご参加いただいた皆さん、お疲れ様でした！当日は、県内各地より48チームが参加して、その保護者や運営を含めると1000人オーバーが参加する大事業となりました。

日中は、私たちはかなり時間が空きますので、雑談等ができる分、よい親睦の機会にはなるのですが、次年度は空き時間の有効活用やスケジュールの組み方などの何らかの工夫をしたいなと思います。またUMKさんにも取材いただきました。結構長い尺でした。寺村社長、ありがとうございました。

そして、3月22日、23日の創立50周年記念式典、祝賀会、3パートに分かれてのエクスカーションは、大変、大変お疲れ様でした！

小園実行委員長、安川・村野副委員長、各部会長の皆さん、そして大浦幹事、事務局奥野さん、約半年以上にわたり、会議から企画立案、記念品準備、当日パンフや席次表に至るまで、沢山の事前準備も大変ご苦労さまでした。

中でも大田委員長の設えたオムコーキのVRTも素晴らしい仕上がりで最高！でした。皆さん、本当にありがとうございました。

出席委員会報告

島田博良委員長

●出席状況

日 状 況	
会員数	(57)59名
本日出席者数	36名
本日欠席者数	23名
出席率	63.16%

前々回修正出席状況		
マークアップ数	0名	0名
修正出席率	72.41%	72.41%
マークアップされた方(敬称略)		

ニコニコ BOX	5 件 累計	10,000円 70,000円
----------	--------	-----------------

募金箱	7,064円 累計	152,207円
-----	-----------	----------

また当日は、やむ無き事情以外の方は、ほぼ全員出席いただき、そしてご協力いただき感謝申し上げます。皆さんの現場力と協力のお陰で、終了してからも、各方面から「素晴らしかった！」「アットホームで良い内容だった」など沢山のお褒めの言葉をいただくことが出来ました。蓮田ロータリークラブの皆さんも、それぞれ皆さんのホスピタリティに感謝され、大変喜んでお帰りになりました。

アットホームな雰囲気のクラブは、ともすると「ゆるさ」という所もできてしまうのですが、流石、南クラブの皆さんとの現場力は素晴らしい！と改めて感じました。やるときは ヤル！／ヤurrel！ メンバーに恵まれてとても嬉しく思っております。

このような催事は、以前お話をした「インクルージブ」なクラブの雰囲気を作るのには最適な機会だと思います。普段、なかなか出てこられない会員や、まだロータリーにピンとこない新入会員などが、この機会に参加することで、クラブや人を知る機会になり、例会参加のきっかけがつくれたり、なんとなく例会に参加しにくい気持ちが払しょくできたりもします。「インクルージブ」色々な事情や理由で参加できない人が居たとしても、クラブ全体が包み込むように「ではどうするのか？どうしてあげることができるか？」を考える気風が醸成すると、この先のクラブ運営も必ずもっともっと良くなります。

何人かの方に「ワンチームが感じられ素晴らしい」とおっしゃっていました。

しかった」とご評価をいただきました。業種を超えて、そして世代を超えて、クラブがそのように評価されたことを大変誇りに思います！

今月で、職業奉仕、社会奉仕、青少年奉仕の3大奉仕事業も集大成ともなりましたので、残すところは大きな事業はございませんが、私は来月は宮崎西RCの65周年、西都RCの40周年、5月には日向RCの50周年、6月には指宿RCの60周年にお礼行脚で参加して参ります。

来年度は蓮田ロータリークラブの55周年の計画もあるようですので、また皆さんと一緒に参加できればと存じます。

今回の50周年事業は、本当にお疲れ様でした。そしてありがとうございました。

さあ 今日は、新しい週のはじまりです！

上機嫌で!! 楽しく1週間を過ごしましょう!!!

幹事報告

大浦秀幸幹事



本日の幹事報告は2点ございます。

1. 第10期 RLI2730 パートスリーのご案内です。ロータリーはトレーニングからラーニングへ、リーダーからファシリテーターへと大きく変わってきています。確立されたプログラムに沿って学ぶことは大変有意義です。ロータリーについてもっと学びたい会員はぜひ参加をおすすめします。日時は4月27日、鹿児島大学にて開催されます。詳細は事務局に案内がございます。
2. 蓮田ロータリークラブの舟山清志会長より創立50周年記念式典・祝賀会・ゴルフ・観光のお礼状が届いております。

ニコニコBOX



寺村明之会員

アクサレディースおかげさまで無事終了いたしました。

工藤プロが15年目の悲願の優勝。苦労人のニューヒロインが誕生しました。じいちゃん、ばあちゃんが北浦と聞いております。



内田勇人会員

50周年ゴルフコンペにて1位を取らせていただきました。



大迫三郎会員

50周年記念で特別表彰を戴きました。お陰様で無欠席49年7ヶ月でしたが、あと50年無欠席頑張ります。



小園隆司会員

50周年有がとうございました。



安川潔会員

創立50周年記念式典・祝賀会お疲れ様でした。各部会長の皆様には、準備から当日の運営まで大変お世話になりました。大淀中学校吹奏楽部の上原先生から「ご招待頂きありがとうございました。また募金活動させて頂き、たくさんの寄付を頂きました。会場にいらっしゃったロータリアンの皆様には感謝しかありません。東京でのコンクール、良い報告ができるよう頑張って参ります。」というお言葉を頂きました。

次年度報告

日高安隆次年度幹事



50周年が終わりそろそろ次年度への向けての動きも始まって参ります。次年度クラブ運営がスムーズに始まる意味でも、対象者の方に2つのご案内を差し上げていますので、ご参加を宜しくお願い致します。

① 次年度クラブ協議会

令和7年4月14日(月)18:30～、小戸荘にて

② 2025～2026年度地区研修・協議会

令和7年5月18日(日)、野口遵記念館

9:00～ 登録受付

10:00～ 本会議 (12:30～昼食)

13:10～ 次期会長会議

13:40～ 分科会

※対象者は、出欠とバス利用の希望を

4月9日までにお願い致します。

会員卓話

丸山一郎会員



皆さんこんにちは。最近若い人が増えて顔と名前が結びつきません。逆に皆さん側も私のことを全く知らない方が大勢いらっしゃるでしょう。ロータリーの名簿を開くと大先輩の日高章智さんと私だけ肩書きが真っ白です。私は80を境に従業員に後を任せて一切の肩書きがなくなり、なおさら分からぬでどうから、やっぱり自己紹介をすることに致します。

ただし自分についた綽名に絡めてお話ししたいと思います。私が生まれたのは1940年（皇紀2600年）で戦争の始まる1年前であります。おかげで防空壕の蓋が吹っ飛ぶ空爆も疎開も経験しましたが、ウクライナやガザのような事を人間はなぜ繰り返すのか全く理解できません。

生まれた時は頭ばかり大きくて体の小さい子で火星人みたいといわれたようで、この子は天才か大馬鹿のどちらかだ。といわれていたようですが、天才ではありませんでしたからバカが正解のようです。

綽名ではありませんが次男なのになぜ一郎とつけられたか、ついこの間まで頭を悩ませていました。親からは、爺さんが鳩山一郎が好きだったからと聞いていましたが、他の兄弟は、兄が生後4ヶ月で爺さん婆さんに引き取られて、隠居の子供になったので親は本当の長男が欲しいと一郎とつけたと聞かされていたようです。

しかしこの前ハット気がついたのです。私の誕生日は11月16日です16日だから一郎となつた。これが一番しっくりくると納得したのです。80数年間片親が違うのではないかと悩んだのがやっと霧が晴れたのでした。

綽名らしいのが付いたのは小学校何年だったか。この宮崎観光ホテルの木造の新館が建った時、宮崎小学校からスケッチにきました。その時なぜか屋根の端をくるっと曲げて書いたのです。そしたら同級生にお寺さんみたいと囁き立てられてしばらくは「お寺さん」と呼ばれるようになりました。

中学に入ってからはそれが解けて普通にまるちゃんと呼ばれるようになり今でも大宮高校の同窓会のゴルフではまるちゃんと気楽に楽しん

であります。大学やサラリーマン時代はまだ名で呼ばれることもなく「丸山君」でした。大学は大阪府立大学経済学部で計量経営学を専攻しました。不確実性のもとの経営意思決定論というもので高校で「丸山君は微分、積分、行列等の理解が不得手で数学は限界だね。」と言われていた私にとっては悩みの4年間でした。それにもかかわらず何とかしたいと大学院に行ってさらに悩みを深めました。もっと生産的な道に進みたいと農機具などのメーカーである久保田鉄工に入社し、一番大重要な部門である管理部に配属されました。そこで審査課という取引先の信用調査をして取引限度額を査定する仕事や、不良債権の取り立てをする仕事や、関連事業課で子会社の管理を仕事としておりました。

まだパソコンはなく真鍮製の手回しの計算機やそろばん計算尺などで計算をして各事業部の業績を査定し各部門の評価をしておりました。勿論電算室はありましたが、そのうちタイガーというネオン管のパソコンが入り社内資格もそろばん3級から電算3級に変更になりました。しかし仕事は充実し遊びは青いテントの仲間（ダイブラウンツエルトゲノッセン）というサークルで剣岳は穂高など山に登ったり八方尾根だとスキーにもよく行って、月曜の朝駅のロッカーに板を置いてそのまま出勤するような塩梅でした。私にも青春があったということでしょう。それがたまたま帰省した時、高鍋に手つかずのススキがぼうぼうの土地を見て、そこから日向灘が見えるのに魅せられて、なぜかそこで植木作りを目指すことになったのです。ところが親父の発案で宮崎園芸が設立まもなくで、まず宮崎園芸に入り植木の知識を習得するとともに給料が自分で払えるようにして欲しい。あとは何でも自分のしたいことをしていいからと株主総会で説得されて、宮崎園芸に入社することになり20数年2束のわらじを続けその後も宮崎園芸を抜けられず、やっと数年前に肩書きのない身になりました。宮崎園芸は青果市場をしていた親父が、新富にハウス園芸の中心が写ったので、赤江地区に新しいハウス園芸を起こしたいと昭和43年2月宮崎県の第1号の生産法人として設立したもので給料の量の支払いも儘ならない状態でした。

それが何の因果か、まあうまく親父に取り込

まれたのでしょうか。宮崎園芸に入り造園をまず担当することになりました、形から入らなければ腰に剪定ばさみ、足には地下足袋とそれで通しましたから植木を植えに行っても「先生、今日はアルバイトですか。」と言われる始末でなかなか植木屋とは認められず「カッコマン」という綽名がつきました。ロータリーの入会も常陸宮や黒木知事と呼ばれたのもこの頃です。

その後しばらくは造園協会の総会で議長することが多く「議長、議長。」とよく呼ばれました。

その後「仮の丸山」とも呼ばれましたが「仮の丸山の心は鬼だ。」と言って回る同業者が現れまして、やっとこれで舐められずにすむと安堵致しました。何せ同業者の中には土建業者から杯をもらったり、ゴロ新聞からこなされることも多く、請負業はなかなか大変なことも多かったので、自分ながらよくやっているなとは思っているところでした。「40を過ぎたら顔に責任を」これが嫌でなんとか努力して佐分利信や山村聰のような顔になりたいと努力しましたが、土台が土台ですからかないませんでした。ロータリー例会の時は車の中で下着のみになって、地下足袋も脱いで背広に着替えなければならず大変で出席もままならず、会員から呼び出されて「お前辞めろ」と言われましたが推薦者の手前、辞める訳にもいかずつい今迄在籍ということになりました。

宮崎園芸は観葉植物の生産、卸、小売、貸鉢、造園等の総合園芸の会社として創立57年、植物を扱う会社としましてはまれな存在です。

市役所のお花やフローランテの納品、工事等、皆様に愛されて今があります。南ロータリーでも結婚記念の花を納めさせていただいてお世話になっております。生産法人というのが非常に不安定な存在で、植物を生産して市場を持っていく農家で売るのは商業販売であるという考えが役所の側も根強くあります。

私は設立当初から6次産業化をやって来た訳で、年を取ることは取ってみないとわからない浦島太郎乙姫様の青春を過ぎて玉手箱を開けて浦島一郎と書いてみようか。

会員卓話

大野 勇会員



皆さんこんにちは。

冒頭の会長挨拶にて、「卓話の担当だから出席しているのかもしれない」と言われてしまい、来週の例会も出席することとなりました…大野です。

本日、私の卓話の持ち時間は3分ということですので、足早にお話をさせていただきたいと思います。

先日の50周年では祝賀会にて司会を仰せつかり、大変貴重な経験、勉強をさせていただく機会を頂きました、ありがとうございました。

その際、一緒に司会を務めていた竹下凜アナウンサーですが、先ほど、寺村会員からもお話がありましたが、UMKテレビ宮崎の武田アナウンサーが、産休・育休を経て今月末で退職をされるということで、その後を継ぐのが、「竹下凜」さん。これからは「竹下凜」の時代がやってくるとのことです。

そんな「竹下凜」さんから、大迫会長他数名の方に直筆のサイン（写真付き）を頂いておりますので、これをお渡しさせて頂き私の卓話とさせていただきます。

大迫会長



※50周年おめでとうございます。三味線感動いたしました!

小園実行委員長



※50周年おめでとうございます。三味線感動お上手でした!

長澤会員



※お電話お待ちしております!

安川会員



※今度ぜひどこかへ連れてってください!